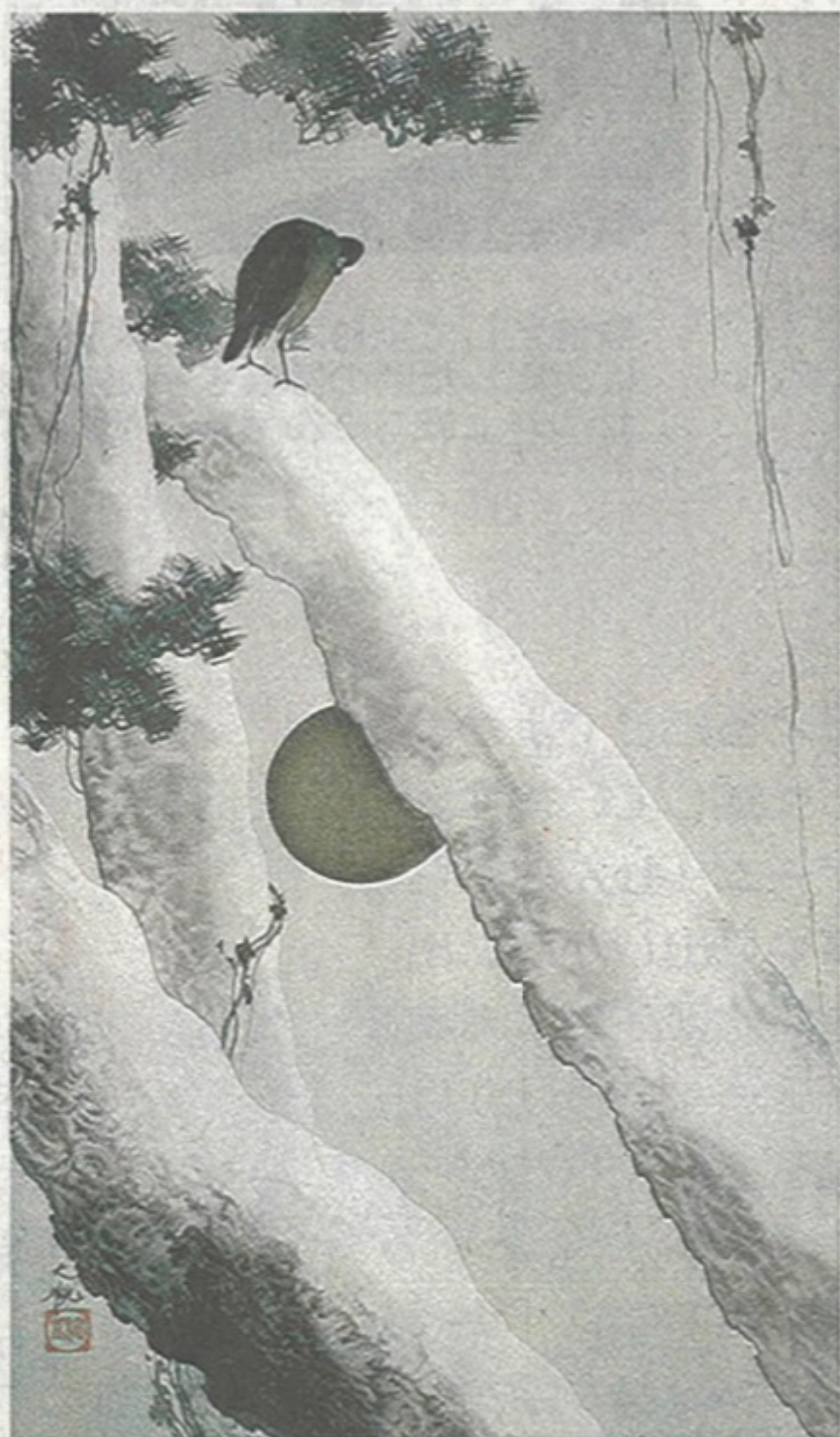


森田曠平「女神春秋 花鎮め」(1982年、県近代美術館寄託)



新境地を切り開いた52作家84点

日本画150年の歩み



横山大観「松月雪景」(1904年、県近代美術館寄託)

県近代美術館 あすから企画展

六月二十日まで。月曜休館(五月三日は開館、同月六日休館)。入館料は一般六十円など。鑑賞の日時をオンラインで予約する「WEB整理券」(無料)を取得した人が優先。問い合わせは同館=電029(243)5111へ。

今瀬佐和美術課長は「それぞれの時代の新しい試みに注目してほしい」と話している。

明治から現代に至る日本画の百五十歩の歩みをたどる企画展「日本画の150年 明治から現代へ」(東京新聞水戸支局後援)が十七日、水戸市千波町の県近代美術館で開幕する。所蔵・寄託品から五十二作家の八十四点を展示する。さまざまに分野で西洋化が進められた明治時代、画家たちも洋画の写実表現を取り入れ、新たな日本画を創出した。その志は、芸術の自由を標榜した大正時代、古典が見直された昭和前期、敗戦で価値観が一変した戦後期を経て、現代へと受け継がれている。企画展は四章で構成。第

現在の高萩市出身で、江戸時代の地理学者・長久保赤水(1717~1801年)が作った精密な日本地図「赤水図」が本年度、中学校の社会科の授業で使う地図帳(帝国書院)に掲載された。市教育委員会

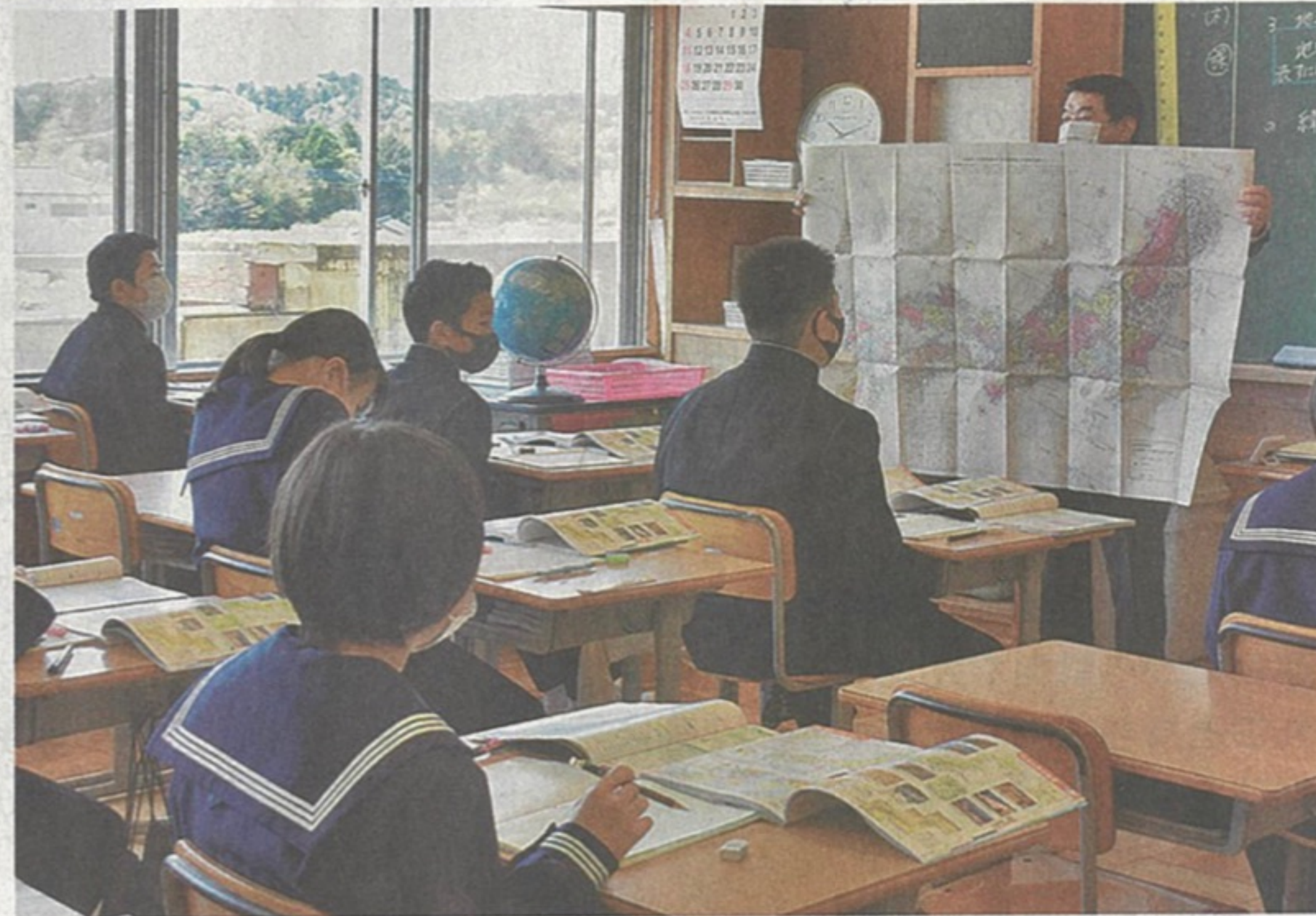


によると、社会科の検定教科書に赤水図が取り上げられるのは初めて。市内の中学校では早速、地図帳を使った授業が始まり、生徒らは郷土の偉人の功績に思いをはせていた。(保坂千裕)

高萩出身の地理学者 社会科地図帳に掲載

市内の松岡中で十五日、地図をテーマにした一年生の社会科の授業があり、赤水図が登場した。

まず、担当の渡辺浩実教諭(左)が黒板に地球の位置を正しく表示することができること、本初子



「赤水図」を社会科の授業で学ぶ生徒ら=高萩市で

郷土に思いはせ授業



長久保赤水の「赤水図」(左下)が、伊能忠敬の「伊能図」(右)と並び紹介されている帝国書院の地図帳

午線や赤道について説明した。次第に話題は世界から日本に絞られ、「では、日本の地図はいつ作られたと思うか」と生徒たちに問いかけると、数人から「三百年前」と返答があった。そこで渡辺教諭は、地図帳を開くように指示。「日本の地図

で有名なのは誰?」と問うと、「伊能忠敬」と生徒が答えた。日本地図の変遷を説明したページには伊能忠敬の地図の隣に「赤水図」が並び、渡辺教諭は「赤水は旅人から情報を得ながら地図を作ったと伝えられている。歴史的に価値がある」と説いた。

顕彰会は、重文指定を記念したファイルを作成し、この日、児童生徒の学習用として市に二千人分を寄付した。佐川春久会長は「赤水ブームは来る。大河ドラマを目指し、世界中にある赤水の資料を集めていきたい」とさらなる意欲をみせた。

「赤水図」中学生に誇り

市では地域学習の一環で、小学校から赤水について学ぶ機会が幾度かあるが、社会科は初めて。授業を受けた山形樹生さん(二)は「『赤水図』の北海道は少し違つかと思うが、地元の人々が地図を作ったことはすごいと思うし、うれしい」と話した。

帝国書院は「赤水図」を掲載した経緯について「日本の古地図史で重要として扱った。赤水図という、かなり正確な地図があったということを知ってもらふ意義もある」と説明する。地図の変遷は、中学社会科で教える内容の範囲から逸脱するものの、あえて取り扱ったという。

赤水が、検定教科書に載るまでに知名度が上がった背景には、地元団体の努力がある。

一九九二年に赤水の子孫や地元住民で設立した「長久保赤水顕彰会」はこれまで、赤水の書籍の現代語訳二冊や、生涯を描いた漫画本を発行。当時百人だった会員数は、昨年の国の重要文化財(重文)指定もあり、今では全国で七百人弱にまで増えた。

茨城



大子町観光商工課
☎ 0295(72)1138
http://www.town.daigo.ibaraki.jp
大子町観光協会
☎ 0295(72)0285
http://www.daigo-kankou.jp

県内の天気

きょう	あす
日立	☀️
水戸	☀️
土浦	☀️

きょうの予想 (水戸)

降水確率
朝10% 昼10% 晩10%
気温
最高17度 最低5度
南の風

水戸支局
〒310-0011
水戸市三の丸
1-4-73
水戸三井ビル4F
電話 029-221-7128
FAX 029-221-8271
mail:mito@tokyo-np.co.jp
つくば通信部
〒305-0032
つくば市竹園1-8-2
ミオカステロ
つくば竹園515
電話 029-859-1618
FAX 029-859-1619